授業科目名	アメリカの歴史と文化	単位数	2単位
担当教員名	斎藤　寿葉	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係

DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知）
DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）

授業のテーマ及び到達目標

【授業のテーマ】
アメリカが社会的、経済的、文化的にどのように変化してきたかを学び、現代アメリカ社会についての理解を深める。

【到達目標】
(1) アメリカの歴史的変遷を現代アメリカ社会との関連において理解できる。
(2) アメリカ社会の多様性とそれに伴う軋轢を理解できる。
(3) 異文化間の相互理解、共存について自分なりの考えを持つことができる。

授業の概要

この授業では「アメリカ」の現在を時間をかけて形作られ、絶えず変化し続けるものとして捉える。レポート学修においてはまず、アメリカ史の流れを概観し、現代アメリカ社会のさまざまな特徴が生じてきた過程を理解することを目指す。その後、小説や映像作品を題材にとりながら、人種や文化の違いに関して20世紀のアメリカが提起した諸問題とそこから見えてくる多文化社会の可能性と困難について検討する。

授業計画

第１回：アメリカ史をいかに語るか――時代区分を確認し、歴史的観点からアメリカについて学ぶ準備をする。(教科書pp.1-15)
第２回：荒野から都市へ――アメリカ国土の多様性と領土拡大の歴史について学ぶ。(教科書pp.18-37)
第３回：ニューエコノミーの形成――アメリカの経済成長過程とそれに伴うライフスタイルの変化を理解する。（教科書pp.38-62）
第４回：労資関係と階級――資本主義の発展とアメリカ的階級社会形成の関係について学ぶ。(教科書pp.63-82)
第５回：先住アメリカ人の歴史――先住アメリカ人に対する迫害、同化政策について知る。（教科書pp.84-99）
第６回：「アメリカ白人」とは何か――アメリカを移民国家として捉え、「アメリカ白人」という存在が形成されるに至った過程について理解する。（教科書pp.100-118）
第７回：アフリカ系アメリカ人の歴史――奴隷制や人種隔離政策等、アフリカ系アメリカ人の置かれてきた立場について知る。(教科書pp.119-140)
第８回：ラティーノ／ ヒスパニック――「ラティーノ／ヒスパニック」の歴史を知り、彼らを定義することの困難について理解する。(教科書pp.141-155)
第９回：アジア系移民の歴史――アメリカ社会におけるアジア系移民の地位の変遷を理解する。(教科書pp.156-170)
第１０回：アメリカ史とジェンダー――ジェンダーの観点からアメリカ社会の変化を解釈する。（教科書pp.171-190）
第１１回：政治思想から見たアメリカ――「自由」の理念を中心に、建国当時からの政治思想の流れについて学ぶ。（教科書pp.192-213）
第１２回：アメリカ民主主義の変遷――連邦体制、政党制など、アメリカ政治史の流れを理解する。(教科書pp.214-233)
第１３回：「アメリカ人」の形成――国民統合のプロセスと人種やエスニシティの扱いについて理解する。(教科書pp.234-252)
第１４回：宗教と国民意識――国家の形成と宗教の関係、国民を統合する「国教」について学ぶ。(教科書pp.253-268)
第１５回：ポピュラーカルチャーから見るアメリカ――ポピュラーカルチャーの形成過程からアメリカ史を解釈する。（教科書pp.269-288）
科目修得試験

スクーリングでの学修

テキスト

有賀夏紀・油井大三郎編（2003）『アメリカの歴史　テーマで読む多文化社会の夢と現実』有斐閣、978-4641121621

参考書・参考資料等

有賀夏紀（2002）『アメリカの20世紀(上)　1890年～1945年』中央公論新社、978-4121016645
有賀夏紀（2002）『アメリカの20世紀(下)　1945年～2000年』中央公論新社、978-4121016652
亀井俊介ほか監修（2000）『新版・アメリカを知る事典』平凡社、978-4582126433

学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）